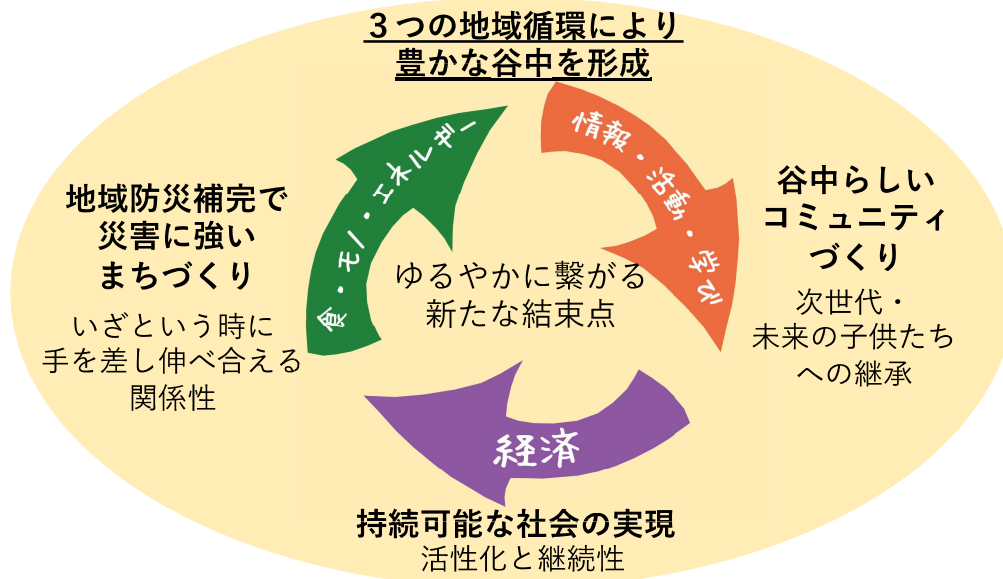


「居心地のよい豊かなまち・谷中」 小さな拠点のネットワークから大きな地域循環をつくる

谷中・朝倉彫塑館通りは・・・

- 古い建物や街区が町並みを作り、おせっかいと懐の深さが同居するまち。
- 昨今は、観光地としての価値も高く、ここに住む人の生活に魅力を感じる来街者も多い。
- 朝倉彫塑館通りは、寛永寺に続く趣ある建物や空間が存在している。
- 空き家の解体やマンション建設による景観の変化が起っている。

遺贈地・小倉屋の再生・活用により、新旧住民や来街者がゆるやかに繋がる場が生まれる。3つの地域循環を育みながら、通りの個性や文化の発信にも寄与していきたい。



遺贈地について

コンセプト：キッチンのある広場「コミュニティファーム」

まちにある資源を地域で活用したい！

▶みんなで一緒に野菜や草花を育てる資源活用

- ・生ゴミを堆肥にできるコンポストによる堆肥の回収
- ・地域の神社やお寺の落ち葉・枯れ枝を収集し土壌に活用
- ・地域の廃材を柱や家具・レイズドベッドの材料に

災害時の一時集合場所がなくなった・・・

▶地域の防災機能を補う

- ・一時集合場所としての機能を補う設備を整備する
- ・助け合える関係性を紡ぐ日々の活動が災害時の備えになる

彫塑館通りをより魅力的&安全にしたい！

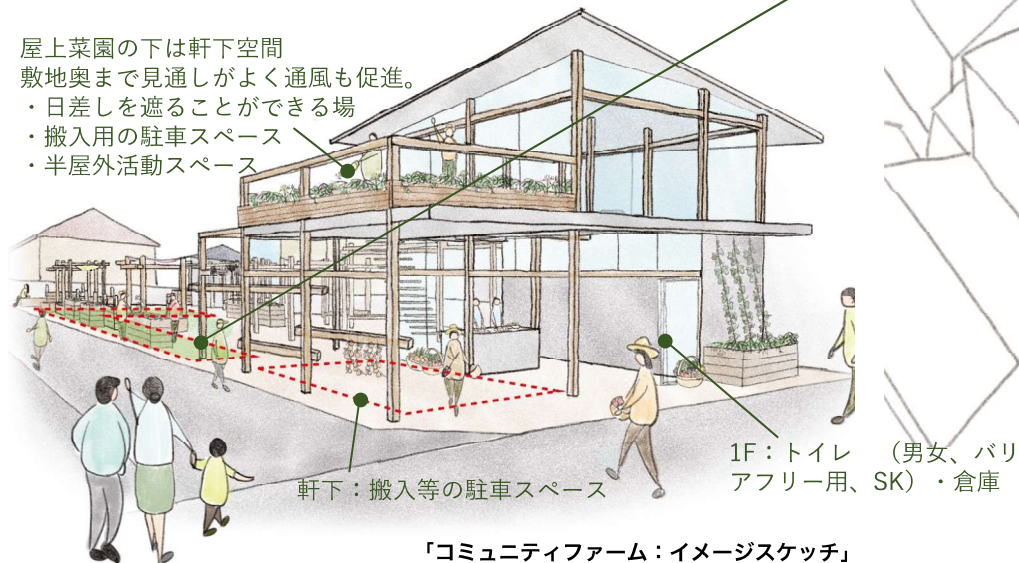
▶建物を沿道側に配置することによる効果

- ・既存の町並みラインに揃え町並みを形成する
- ・セキュリティは2段階とし運営時間を変えることも可能
- ・広場からの子どもの飛び出し等を防止

屋上菜園の下は軒下空間

敷地奥まで見通しがよく通風も促進。

- ・日差しを遮ることができる場
- ・搬入用の駐車スペース
- ・半屋外活動スペース



小倉屋について

コンセプト：共創スペースのある「オグラヤ」

朝倉彫塑館通りに気軽に立ち寄れる場所を増やしたい！

▶通りに賑わいを生むきっかけづくり

- ・店舗1階：住民や来街者がふらっと立ち寄れるカフェ。大人から子供、来街者がアップサイクルものづくりに出会う場
- ・店舗2階：不要になった本や雑貨を販売したり交換したりできる一箱本棚&雑貨を展開

歴史的価値のある蔵をもっと身近な存在にしたい！

▶日常的に利用できる施設活用

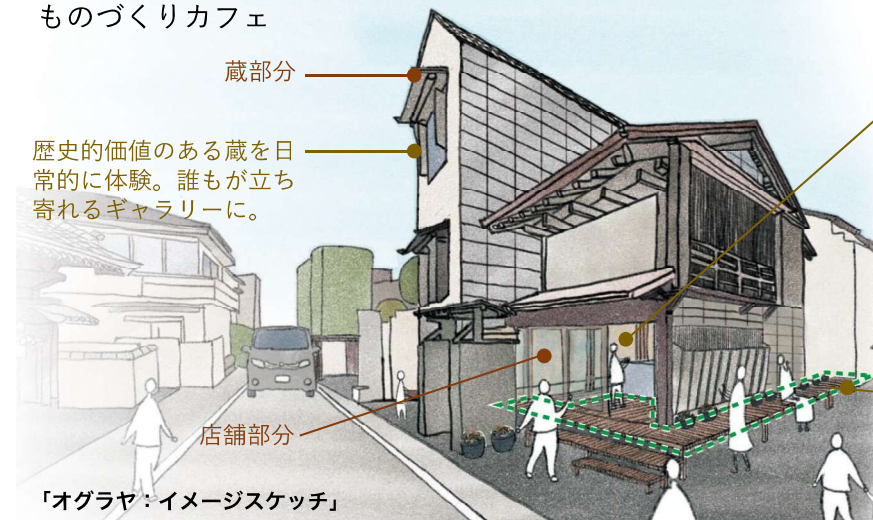
- ・蔵1階：地域の人々が日常的に不用品を持ち寄ったり、ものづくりを楽しむワークショップ/資材持ち寄りスペース
- ・蔵2階：アーティストや住民の創作活動の場としてのスタジオ・作業場
- ・蔵3階：専有スペースではなくギャラリーとして誰でも立ち寄ることができる場所として蔵を体験

まちの不用品を活用した循環型の暮らしを推進したい！

▶小倉屋や近隣を含めた解体時の廃材をリユース

- ・廃棄家具をアップサイクルして再利用
- ・不要材料でのモノづくりが体験できるアップサイクルものづくりカフェ

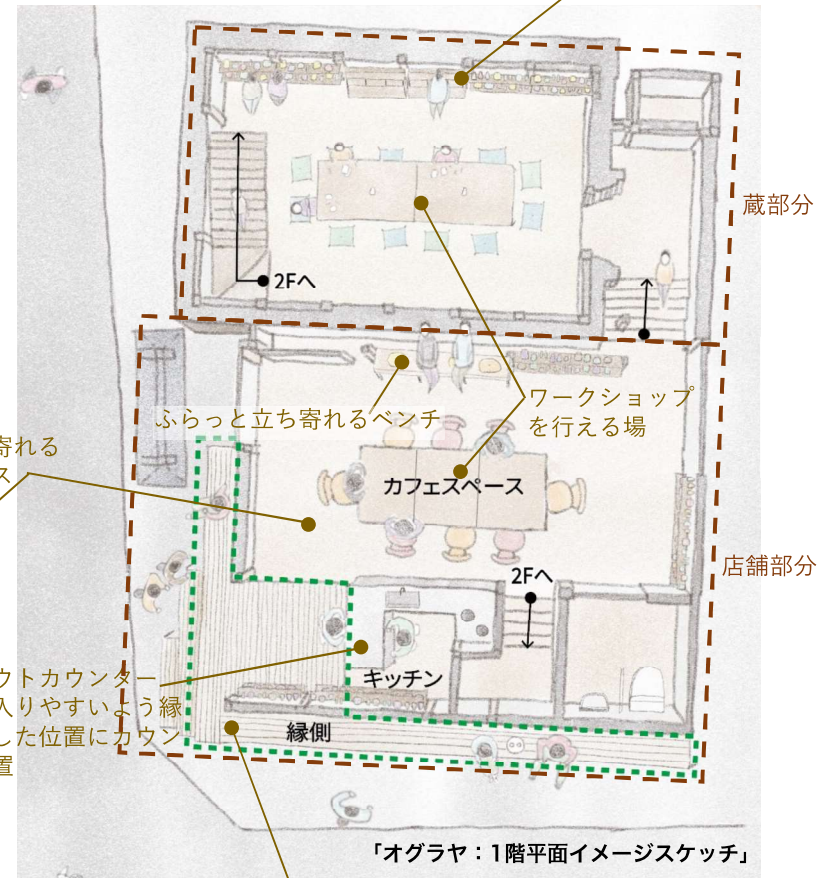
壁際の棚（谷中のたな）にはアップサイクル資材が並べられたり、物々交換の場として計画。地域の廃材や不用品のリメイク・リユースにより制作



歴史的価値のある蔵を日常的に体験。誰もが立ち寄れるギャラリーに。

店舗部分

「オグラヤ：イメージスケッチ」



ふらっと立ち寄れるカフェスペース

ふらっと立ち寄れるベンチ

ワークショップを行える場

カフェスペース

キッチン

縁側

テイクアウトカウンター
いつでも入りやすいよう縁側と連続した位置にカウンターを設置

「オグラヤ：1階平面イメージスケッチ」

「オグラヤ」の角は、縁側として解放し、縁側と庇を組み合わせた自立式の半屋外スペースとして設置を検討